



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日

上場会社名 株式会社ダイセル
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 札幌 操
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	356,936	3.2	44,795	△2.9	47,937	△2.4	33,075	16.1
2018年3月期第3四半期	345,703	7.1	46,144	△4.1	49,095	△0.8	28,481	△11.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 31,191百万円 (△29.6%) 2018年3月期第3四半期 44,298百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	98.29	—
2018年3月期第3四半期	82.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	634,722	418,463	61.4	1,178.65
2018年3月期	640,284	413,541	60.1	1,136.32

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 390,014百万円 2018年3月期 384,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2019年3月期	—	16.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	479,000	3.5	54,000	△8.4	58,000	△5.1	40,000	7.9	120.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	349,942,682 株	2018年3月期	349,942,682 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	19,044,579 株	2018年3月期	11,239,478 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	336,507,943 株	2018年3月期3Q	345,269,158 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心に緩やかな景気の回復が続くとともに、日本経済においても、景気の緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の深刻化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高3,569億36百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益447億95百万円（同2.9%減）、経常利益479億37百万円（同2.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益330億75百万円（同16.1%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途の販売数量が微減となったことや、たばこフィルター用途の販売数量が減少したことにより、売上高は減少いたしました。

たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓に取り組み、販売数量は前年並みとなったものの、市況軟化の影響により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、644億70百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は、原燃料価格の上昇や市況軟化の影響などにより、129億33百万円（同17.5%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、堅調な需要や市況上昇の影響などにより、売上高は増加いたしました。

合成品は、販売数量の増加や市況上昇の影響などにより、売上高は増加いたしました。

機能品は、前年度の過酢酸製造プラントでの火災事故による影響からの回復に加え、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定や、コスメ・ヘルスケア分野の需要が好調に推移したことなどにより、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、カラムや充填剤の販売が増加したことや、インドでの新規事業が伸びたことなどにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、683億80百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は、販売数量の増加や原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定の影響などにより、114億55百万円（同105.2%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、スマートフォン販売低調の影響を受けたものの、自動車部品の需要増加や新規採用が進んだことによる販売数量の増加、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、販売数量は減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主にフィルムの販売が増加し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、1,352億57百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は、販売数量は増加したものの、原燃料価格上昇の影響などにより、169億60百万円（同3.7%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などの自動車安全部品事業は、インフレータの販売数量は増加したものの、販売品種構成の変化などにより、売上高は減少しました。

防衛関連製品などの特機事業は、販売数量の減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、831億83百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は、販売品種構成の変化などにより、146億97百万円（同15.2%減）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業の売上高は、増加いたしました。

運輸倉庫業などその他の事業の売上高は、増加いたしました。

当部門の売上高は、56億44百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益は、3億68百万円（同9.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、たな卸資産や有形固定資産等の増加がありましたが、現金及び預金や投資有価証券等の減少により、前連結会計年度末に比し55億62百万円減少し、6,347億22百万円となりました。

負債は、主に社債等の減少により、前連結会計年度末に比し104億84百万円減少し、2,162億58百万円となりました。

また純資産は、4,184億63百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,900億14百万円となり自己資本比率は61.4%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,358	103,291
受取手形及び売掛金	93,256	95,040
有価証券	3,929	2,129
たな卸資産	109,295	122,746
その他	17,418	18,178
貸倒引当金	△44	△107
流動資産合計	349,214	341,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,320	60,741
機械装置及び運搬具(純額)	79,607	76,548
土地	26,754	26,925
建設仮勘定	14,053	24,812
その他(純額)	5,305	5,592
有形固定資産合計	184,041	194,621
無形固定資産		
のれん	1,894	3,695
その他	6,694	7,095
無形固定資産合計	8,589	10,790
投資その他の資産		
投資有価証券	76,390	66,300
その他	22,225	21,898
貸倒引当金	△174	△167
投資その他の資産合計	98,440	88,031
固定資産合計	291,070	293,443
資産合計	640,284	634,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,213	55,093
短期借入金	10,117	7,815
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	3,733	3,534
未払法人税等	4,271	3,218
修繕引当金	37	2,094
その他	33,806	34,368
流動負債合計	118,181	116,125
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	25,884	30,134
役員退職慰労引当金	39	51
修繕引当金	869	9
環境対策引当金	4,000	4,295
退職給付に係る負債	12,279	13,298
資産除去債務	1,238	1,217
繰延税金負債	11,069	9,916
その他	3,180	1,211
固定負債合計	108,561	100,133
負債合計	226,742	216,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,642	31,692
利益剰余金	292,104	314,389
自己株式	△14,004	△23,813
株主資本合計	346,017	358,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,410	27,011
繰延ヘッジ損益	58	48
為替換算調整勘定	4,805	3,714
退職給付に係る調整累計額	583	695
その他の包括利益累計額合計	38,858	31,470
非支配株主持分	28,665	28,449
純資産合計	413,541	418,463
負債純資産合計	640,284	634,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	345,703	356,936
売上原価	241,911	251,505
売上総利益	103,791	105,430
販売費及び一般管理費	57,646	60,634
営業利益	46,144	44,795
営業外収益		
受取利息	186	256
受取配当金	1,368	1,737
持分法による投資利益	1,058	1,274
為替差益	290	231
その他	1,454	1,484
営業外収益合計	4,358	4,984
営業外費用		
支払利息	895	907
環境対策引当金繰入額	—	298
その他	511	637
営業外費用合計	1,407	1,842
経常利益	49,095	47,937
特別利益		
固定資産処分益	15	10
投資有価証券売却益	2,037	2,991
関係会社出資金売却益	—	290
受取保険金	715	1,028
特別利益合計	2,767	4,321
特別損失		
固定資産除却損	941	1,096
クレーム補償費用	85	—
災害による損失	677	692
環境対策引当金繰入額	4,000	—
特別損失合計	5,704	1,789
税金等調整前四半期純利益	46,158	50,469
法人税、住民税及び事業税	10,545	10,858
法人税等調整額	1,565	920
法人税等合計	12,111	11,779
四半期純利益	34,047	38,689
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,565	5,614
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,481	33,075

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	34,047	38,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,075	△6,467
繰延ヘッジ損益	42	△19
為替換算調整勘定	4,301	△870
退職給付に係る調整額	436	160
持分法適用会社に対する持分相当額	395	△300
その他の包括利益合計	10,251	△7,498
四半期包括利益	44,298	31,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,998	25,687
非支配株主に係る四半期包括利益	6,300	5,504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	67,874	59,584	127,154	86,493	341,106	4,596	345,703	—	345,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,468	11,904	7	—	13,379	7,890	21,270	△21,270	—
計	69,342	71,488	127,161	86,493	354,486	12,487	366,973	△21,270	345,703
セグメント利益	15,677	5,583	17,616	17,326	56,203	407	56,610	△10,466	46,144

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△10,466百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	64,470	68,380	135,257	83,183	351,292	5,644	356,936	—	356,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,050	16,077	14	—	18,142	8,299	26,442	△26,442	—
計	66,520	84,458	135,272	83,183	369,435	13,943	383,378	△26,442	356,936
セグメント利益	12,933	11,455	16,960	14,697	56,047	368	56,416	△11,620	44,795

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△11,620百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。